

おんべつ支所だより

報告!!

レクリエーションスポーツで交流!



▲ パークゴルフビンゴの様子
(子ども広場提供)

などの競技に汗を流し、時折見られるナイスプレイの場面には児童と大人がハイタッチをするなど、相互の交流が大いに深まり、始終にぎやかな雰囲気のなか交流会を終えることができました。

8月21日(木) 森林体験交流センター(ティクル80)において、放課後子ども広場に通う児童と3団体(ボランティア連絡協議会・身体障害者福祉協会音別分会・老人クラブ連合会)の会員ほか総勢48名が一堂に集い、第1回「げんきな日」ふれあいレクリエーション交流会を開催いたしました。

当日は、参加者が老若男女混合の8つのチームに分かれ、モルックやボッチャ、パークゴルフビンゴ



▲ 終了後の記念撮影

予告!!

音別町ふれあい広場を開催します!

“共に支えあうやさしい地域づくり”を目的に、高齢者から子どもまで音別地域にお住まいの皆さんが一堂に会する多世代交流の場として、「音別町ふれあい広場」を下記のとおり開催いたします。

当日は、ふれあい交流会でのレクリエーションを中心に、わくわく縁日コーナーやすくすく託児コーナーなど様々な催しをとおして、参加者同士の交流を図ります。皆様方のご来場をお待ちしています。

- 日時: 10月4日(土) 9:30~12:30
- 場所: 森林体験交流センター“ティクル80”
- 内容: ふれあい交流会(三世代交流レクリエーション)
わくわく縁日コーナー、すくすく託児コーナー



▲ 昨年度の様子

『おんべつ支所だより』は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

音別支所

(本町3丁目 社会福祉会館内)



6-2941



ボランティアセンター 掲示板

ボランティア活動を体験しました！



▲ 児童とのあそび（子ども広場）

そのうち音別町放課後子ども広場には、参加した生徒たちが登館している児童たちとのあそびなどとおして交流を深めたほか、時には児童のリーダー的な存在となり、準備や後片付けなどのサポート等も行っていました。

参加者からは「とても楽しかった」との感想が、児童からも「自分も中学性になったらボランティアしたい！」といった感想もありました。

本会ボランティアセンターでは、児童・生徒の夏休み期間を利用し、地域の福祉施設やボランティア団体での活動体験をとおして、福祉についての理解を深めながら、将来の職業について考えるきっかけを提供することを目的に「夏のボランティア体験・職業体験事業」を毎年企画しております。

今年は、音別中学生5名にご参加いただき、夏休み期間中の7/26～8/24までの間、選択した活動で体験を行いました。



▲ 記念にバシャリ（子ども広場）

レスキューキッチンで炊き出し訓練！



▲ レスキューキッチンシステム

—— 音別町ボランティア連絡協議会 ——

8月23日（土）ビーナススポーツ少年団主催による「音別町防災キャンプ in 憩いの森」が実施され、会員6名がレスキューキッチンシステムを用いた炊き出しに協力しました。

レスキューキッチンシステムとは、一度に約100食分の炊飯や汁物を調理できる、災害発生時の避難所等での活用が期待されるキッチンユニットです。

この日は、レスキューキッチンを用いて「豚汁」約70食を30分ほどで炊き出し、防災キャンプ参加者に提供いたしました。